



Confidential

2025 年 11

月

漫画本・アニメーション・聞く物語（朗読・講談）

五十嵐フーチンさん（仮題）

知識の杜・五十嵐フーチンさん制作委員会



企画趣旨

近年は、世界中が利己主義に陥っています、自分ファースト（自分の国そして自分さえ良ければ）その結果で、富の偏在（所得格差）が起きています。

世界の長者番付上位 8 人が下位 50% の人々の所得と同等であるという現実。その格差が原因と成り、人心が荒廃して紛争テロ等の要因となっているのでは??? 近年、世界中が利己主義に陥っています、（自分の国そして自分さえ良ければ）結果、富の偏在（所得格差）世界の長者番付上位 8 人が下位 50% の人々の所得と同等であるという現実があります、格差が原因で、人心が荒廃して紛争、テロ等の原因となっています。

中国の若者は一人っ子政策による意識の変化、日本の若者は長引く不況により未来に対する不透明感による意識の変化。（他人を思いやる心の喪失）

45 年前に、実際にあった 1 人の日本人と 3 人の中国人留学生との心の交流が 20,000 人以上となり、現在も続いている、この奇跡の様な交流の広がり輪を歴史の片隅に残すべくストーリーとして完成させます。

（現実には壮絶な物語）を、漫画本・アニメーション・聞く物語で表現して、人間の本来持っている、心のやさしさを伝えて思いだして頂き、世界中に心のやさしさを広めたいと思います。



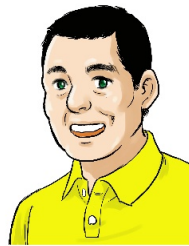
私たちは決して政治的な趣旨で制作するものではありません。

尊敬と信頼、そして強い友情の物語を描きたいと考えています。

「この漫画本・アニメーション・聞く物語は、そんな奇跡のような実話に基づいています」

当初計画の映画（実写）企画から 8 年間立ちましたが、新たに、漫画本・アニメーション・朗読・講談の制作を進めています。

五十嵐勝・プロフィール



*プロフィールは知識の杜・みんなの森・五十嵐勝の木にて掲載

<http://chishikinomori.com/mori-everyone#igarashi>

1942 年、福島県会津市生まれ、いわき市育ち。1985 年ごろから 2000 年代前半まで、中国人留学生約 4,000 人との交流。89 年、第 1 回「倉石賞」（日中学院 倉石武四郎先生記念基金）を夫妻で受賞。

中国の大学および日本語学校で使用する日本語学習書『新編日語』（上海外語教育出版社）の第 16 課のタイトルは「五十嵐勝さん」である。

また『中外名人辞典』（中国の紳士録と言われる）に、日本人として唯一人載る。訪中は 200 回を超え「中南海」に行き、「迎賓館」にも宿泊した。

民間人として、胡耀邦（第 3 代中国共産党中央委員会主席）、孫平化（第 3 代中日友好協会会長、日中国交回復に尽力）、唐家璇（元外相・国務委員）、武大偉（元外務次官・駐日大使）、鄧穎超（周恩来夫人、第 4 代全国政治協商会議主席）、王光美（劉少奇夫人、元全国政治協商会議常務委員）など多くの中国要人と面会した。

実写映画

大林 宣彦（おおばやし のぶひこ）監督の映画『北京的西瓜』（ペキンのすいか）



(ベンガル・もたいまさこ・江本朗) が 1989 年に公開された。

1、制作方法

- *現代の中国人の目線で作成、過去に恩義のあった、五十嵐勝と言う人物への、恩返しをしたという現実をベースとする。
- *五十嵐勝さんが、どれだけ破天荒な人物であったか（自己破産寸前）。
- *こちら葛飾区亀有公園前派出所、天才バカボンのようなギャグを入れたストーリーで 2,000 人～20,000 人と増え続けている交流逸話で 1 話 15 分の連続のストーリーを制作。
- *制作方法については、五十嵐勝氏より一任されています。

2、その他

- *五十嵐勝氏は今でも中国との交流を深めています、現在まで延べ 2 万人以上の交流を続け深めています。
- *完成後は日本・中国で同時配信発売。
- *中国の日本語教科書出版社との提携交渉中・上海外語教育出版社・新華社
新編日語対 16 課五十嵐勝氏さんが 23 ページに渡り掲載されている
日本語を学んでいる学生は、今でも五十嵐勝氏を勉強している。
- *映画制作の広告手段として、相乗効果を狙う。
- *電子書籍にて、声の出る漫画本としても発売。
- *聞く物語・朗読本・講談本としても配信。

3、ストーリー（全体の流れ）

*プロローグ

- ①エピソード 1・五十嵐と中国人留学生との出会い
- ②エピソード 2・生活苦からの逃避と留学生たちとの生活
- ③エピソード 3・八百春倒産??
- ④エピソード 4・五十嵐さんを助ける会
- ⑤エピソード 5・五十嵐さん上海へ
- ⑥エピソード 6・上海での歓迎会

*思い出話 1～5

- ⑦エピソード 7・上海見学
- ⑧エピソード 8・新聞での報道
- ⑨エピソード 9・映画になった五十嵐さん



題名「北京の西瓜」大林宣彦監督

⑩エピソード 10・上海外国語大学の教科書に掲載される

16 章に「五十嵐勝」として掲載されている

⑪エピソード 11・中国の紳士録に日本人として初めて掲載された

4、五十嵐フーチンさん・製作委員会

制作委員長 松島秀夫

副委員長 伊藤敏郎

副委員長 赤瀬公男

評議員 5 名

*総合プロデューサー

松島秀夫（NPO 法人知識の杜代表理事）



*制作総監督

伊藤敏郎（映画監督）（元東京情報大学映像学科教授）



*デザイン監修

赤瀬 公男（AC デザイン社長）（知識の杜副理事長）

